

あすなろ

連絡先：電機労働者懇談会付 沖電気の職場を明るくする会
東京都品川区二葉 2-20-8 染野ビル 2F 電話 03 (6421) 5323



ホームページ

沖電気の職場を明るくする会

検索→

8時間働けば、誰でも生活できる職場を

引き続き、アンケートにご協力ください



生活改善要求
←

リストラ問題
→

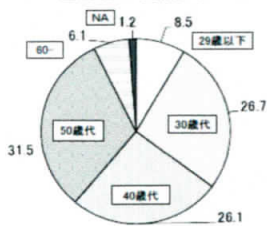


赤べこ：平安時代に蔓延した、疫病を払った赤い牛（諸説あり）

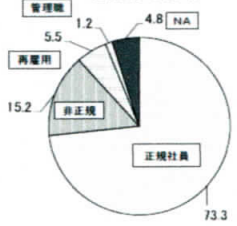
生活実感「苦しい・やや苦しい」が **55.3%**
生活に必要なアップ額「月3・5万」が **56.4%**

電機「生活改善要求アンケート」中間結果から

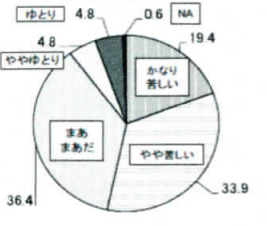
回答者の年齢分布



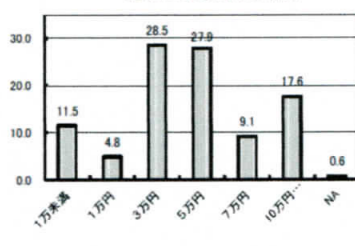
回答者の分布



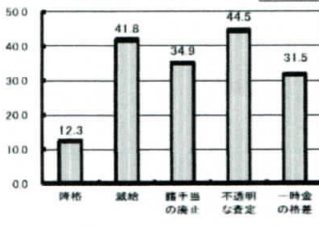
生活実感は？



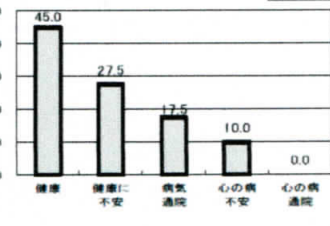
生活に必要な月の増額



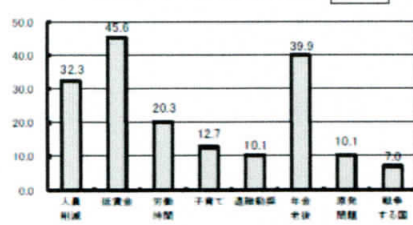
処遇制度で困ること



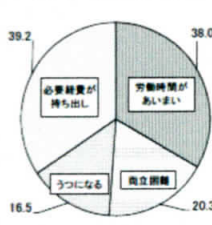
健康選択



困っている、不安なことは？



テレワークで困っている



沖電気の職場を明るくする会

「パートタイム・有期雇用労働法」が昨年4月にスタートし「同一労働・同一賃金」の流れを後押しをしました。流れに逆らうように「最高裁」では一時金・退職金の「均衡待遇」に対して不当な判決が出されました。非正規の労働者・労働団体などから非難の声と同時に野党共闘で法改正の提案がされています。

誰もが働きやすく、安定した収入を得られる雇用を増やす必要があります。

職場から声を上げ、新しい政治への転換をめざす契機としていきましょう。

今年は丑（うし）年で動物は牛。牛は昔から農作業や物を運ぶ時の労働力として人間の生活に欠かせない動物でした。真面目によく働く姿が「誠実さ」の象徴、疫病を払う動物ともされていて「コロナ」が蔓延する今の社会にぴったりな干支となりました。

▼「コロナ禍」のなかで過ぎた2020年は友人と会うことも旅行することもままならず、お酒を飲みながら話をすることもはばかれる日常。突然始まった一斉休校や簡略化された卒業式、新学期が始まって顔合わせもない大学生や新入社員、慣れない突然のリモートワーク。「コロナ」で仕事が減り生活が成り立たなくなった人、お店を廃業した人。知人は年末に派遣契約解除にあい、次の仕事が見つからなかったら住むところも失うところでした。本当に自己努力だけでは何ともならない苦難の年でした。▼政府がやると「GOTOトラベル」を一時停止しましたが、日々増えていく感染者数に日本医師会など医療9団体は「医師や看護師は使命感で持ちこたえてきたが、限界だ」と指摘し「医療緊急事態宣言」を発表。政府・政治家へ対しても「早め早めの政策を打ち出す」ようメッセージを出しています。▼「コロナ」後の社会をどんな社会にするか、「自助」「自己責任」と政治が国民を突き放すのではなく、「公助」の力を発揮し必要な人に必要なものを届ける必要があります。医療や雇用、住居などあらゆるセーフティネットを強化し支えてくれる社会を目指しましょう。

